

研 究 室 紀 要

第 44 号

東京大学大学院教育学研究科 基礎教育学研究室

2018年7月

目 次

《特別寄稿》

笑う・教育学

——微笑・哄笑・苦笑・憫笑・嘲笑するという関わり方とヒトの成熟—— …宮澤 康人 (1)

《講演記録》

私はなぜ「田園」研究者になったのか

——文化批判の批判を自分史に重ねて—— …………… 山名 淳 (13)

《研究論文Ⅰ》

〈神を見る〉という隠喩

——全体性なき全体性 …………… 田中 智志 (23)

《研究論文Ⅱ》

羽仁もと子の教育思想における神の二面性について…………… 相田 まり (39)

コンセンサスと沈黙の間における言語活動

——ジャック・ランシエールの教育論における二つの愚鈍化からの解放の論理
…………… 川上 英明 (49)

デューイにおける経験の分有について

——目的合理性と合一的共同性を超えて—— …………… 木下 慎 (59)

最晩年ワイトゲンシュタインにおける教師と教育

——『哲学探究』の教師と『确实性の問題』の教師の比較から—— …………… 清野 正義 (71)

普通学校就学運動から見る障害児の意志

——金井闘争に焦点を当てて—— …………… 末岡 尚文 (83)

折口信夫「未成霊」論における成熟への道

——死者と生者の関わり——…………… 高野 暁子 (95)

がっこの会による医療化批判と本質主義批判…………… 高橋 沙希 (107)

大正期公民教育における青年と修養

——天野藤男の公民教育論を中心に—— …………… 田邊 尚樹 (117)

ハンナ・アレントの全体主義批判における複数性の喪失と再生

——教室における生徒間の関係を読み解くための準備として—— …………… 樋口 大夢 (129)

J. デューイのデモクラシー論における美的経験とアートの役割…………… 堀越 耀介 (139)

発達保障思想の再検討

——糸賀一雄の思想形成に着目して—— …………… 森 和宏 (149)

ベルナルド・ステイグレルにおける啓蒙の代補について

——カント『啓蒙とは何か』読解に着目して—— …………… 李 舜志 (161)

韓国の高校社会教科「東アジア史」と授業実践事例

——「テーマ学習に基づいた『討論』授業」に着目して——…………… 柳 準相 (171)

教育実践における「自己－表現」の概念

——富士小学校の教育方法改革を手がかりに…………… 渡邊 優子 (183)

《研究ノート》

- 政治教育における政治的中立性と主体の葛藤
——C.ムフの合理性批判を手掛かりに—— 浜田 未貴 (193)
- 教養 = 人間形成の終焉
——ナチ期Bildung概念検討のためのマイヤー事典を用いた予備的考察——
..... 松井 健人 (201)
- デューイの教育思想に依拠して論じられた道徳授業論の現状
——道徳教育の指導法としてのアクティブラーニングへの期待と懸念——
..... 松橋 俊輔 (209)
- 記憶論と翻訳論のあいだ
——「他者の記憶を翻訳する」ための試論—— 吉田 直子 (219)

《書評》

- 田中智志『何が教育思想と呼ばれるのか：共存在と超越性』 川上 英明 (229)
- 山名淳・矢野智司編
『災害と厄災の記憶を伝える：教育学は何ができるのか』 李 舜志 (233)

《ゼミ動向》 (237)

- [大学院] 総合演習 / 小玉ゼミ / 田中ゼミ / 小国ゼミ / 山名ゼミ /
片山ゼミ / 駒込ゼミ (植民地教育史)
- [学部] 教育政治学演習 / 教育文化論演習 / 戦後教育史演習 /
価値と教育Ⅱ / 比較教育思想

《学位論文一覧》 (259)

* 研究論文Ⅱおよび研究ノートは査読付き。